

7カ国8人が修了式 海外短期建築・芸術研修生招聘

大阪府財団

大阪府国際交流財団が「毎年実施している「大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業」の平成三十年度の研修事業の修了式が二十四日に行われた。今年度は、九月二十七日から十月二十五日まで、インド、インドネシア、マレーシア、タイ、中国、バングラデシュ各一人とベトナムから二人の八人が企業研修等を行っていた。

研修生は、二十五日に大阪府の竹内廣行副知事を表敬訪問した後、期間中はホームステイ等を行いながら、受入先企業である大和ハウス工業、大林組、竹中工務店、銭高組の設計部門での実習や施工現場見学はじめ、安藤忠雄氏設計の建築物視察と安藤事務所を訪問したほか、近畿大学の学生と建築ワークショップ等を行った。なお、研修生は十月二十五日に、それぞれ帰国した。

期待を寄せた。

修了式は、同財団理事長の吉川秀隆氏が会長兼社長を務めるタカラベルモント社の大阪ショールームで行われ、吉川理事長から研修生に修了証書が手渡された。吉川理事長は、「それぞれに有効な時間を過ごしても

招聘事業は、「国際建築家賞」を受賞した安藤氏が大阪府に寄贈した同賞の副賞三千万円を基本財産に、交流財団が海外で建築などを専攻している若者を大阪に招き、企業研修などを通じて日本の建築や歴史、文化等への理解を深め、母国と日本・大阪との友好の架け橋となることを目的に平成五年度から毎年、実施されており、昨年度までに一九カ国・地域から二二五人を招聘している。



吉川理事長を囲んで各国研修生たち

大阪の両造園業協会が韓国で研修